

自宅療養627人 1カ月で5倍

新型コロナウイルスの感染拡大で、入院やホテルなどではなく自宅で療養する人が一日時点まで六千三百七十一人に上り、約一カ月前の千九十六人から五倍以上になったことが、厚生労働省のまとめで分かった。その一週間前の十一月十五日時点と比べても全国で千二百八十一人増え、福岡県では約二倍、埼玉県でも約一・八倍に膨れあがった。

宿泊施設が逼迫

厚労省は病床逼迫を回避するため、軽症や無症状の人は自治体が用意した宿泊施設での療養を原則としている。感染者急増に宿泊施設も逼迫、確保が追い付いていない実態が浮き彫りになつた。

「今月一日時点の厚労省のまとめを都道府県別でみると、北海道、東北、関東、山形、新潟、福島、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、全 国 4990 6271 1281

時点	11/25	12/2	増減
	時点	(実数)	
658	605	-53	
841	1050	209	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
14	11	-3	
0	0	0	
0	0	0	
892	954	62	
2	5	3	
0	2	2	
1249	1700	451	
全 国	4990	6271	1281

恐れがある。

厚労省は八月、宿泊施設の確保が間に合わない自治体が相次いだことを受け、無症状や軽症の人は原則宿泊施設の方針を緩和し、「一人暮らしで自立生活ができる」といった条件に当

るよう政府に提言してい

る。

宿泊施設に空きがあつて

いるものの、感染状況に応じて依頼し、ホテル側の準備にも時間がかかるため四

日時点での開設は七百一

ス感染症対策分科会は十一月、病床逼迫の恐れがある地域では、高齢者でも比較的症状が軽ければ、宿泊施設や自宅でも療養とす

りを口にする。

県内のホテルとは千二百二十五室の確保で合意しているものの、感染状況に応じて依頼し、ホテル側の準備にも時間がかかるため四

日時点での開設は七百一室。このうち一部は使用後

の消毒作業中で、実際に受け入れが可能な室数はさう

に勝手に外出する人も。自治体は宿泊施設の確保に加え、自宅にいる感染者の健康管理の難しさに直面、限界に達している。

札幌市は、若者など重症化リスクが低い人は入院かステージ3（感染急増）相

泊先の確保が追い付かない。埼玉県の担当者は焦りを口にする。

宿泊施設で合意しておいたが、病床や室数に余裕がなくなり、急ぎよ十一月から自宅療養も容認した。担当者は「感染拡大が進み、病床も施設も厳しい状況だ」と話す。

患者の管理

新型コロナウイルス感染症で自宅療養する人が全国で六千人を超えた。病床や

宿泊施設で空きがあつているものの、感染状況に応じて依頼し、ホテル側の準備にも時間がかかるため四

日時点での開設は七百一室。このうち一部は使用後

の消毒作業中で、実際に受け入れが可能な室数はさう

に少なくなる。自宅療養者の多くがホテルに空きが出るのを待っている人など、宿泊施設の逼迫が背景にあるが、自宅療養では家庭内感染のリスクが高まつたりする可能性も出でぐる。

札幌市は、若者など重症化リスクが低い人は入院かステージ3（感染急増）相

泊先の確保が追い付かない。埼玉県の担当者は焦りを口にする。

宿泊施設としていたが、病床や室数に余裕がなくなり、急ぎよ十一月から自宅療養も容認した。担当者は「感染拡大が進み、病床も施設も厳しい状況だ」と話す。

宿泊施設で空きがあつているものの、感染状況に応じて依頼し、ホテル側の準備にも時間がかかるため四

日時点での開設は七百一室。このうち一部は使用後

の消毒作業中で、実際に受け入れが可能な室数はさう

に少なくなる。自宅療養者の多くがホテルに空きが出るのを待っている人など、宿泊施設の逼迫が背景にあるが、自宅療養では家庭内感染のリスクが高まつたりする可能性も出でぐる。

札幌市は、若者など重症化リスクが低い人は入院か

ステージ3（感染急増）相

泊先の確保が追い付かない。埼玉県の担当者は焦りを口にする。

宿泊施設としていたが、病床や室数に余裕がなくなり、急ぎよ十一月から自宅療養も容認した。担当者は「感染拡大が進み、病床も施設も厳しい状況だ」と話す。

宿泊施設で空きがあつているものの、感染状況に応じて依頼し、ホテル側の準備にも時間がかかるため四

日時点での開設は七百一室。このうち一部は使用後